

諸家系譜

高月 高榑 高屋 高野 高嶋
 高城 高濱 高階

庫文官政太			
三三	三四	三九	和書門
二五	架	函	號類

庫文閣内			
三五	三三	三四	和
二七	三五	三九	書
架	冊	號	類

内閣文庫		
番號	和	32649
冊數	225 (137)	
函號	156	23

共二百廿五内

共八十五



説明ターゲット

表紙の裏は糊付けの為、撮影不可能

十二
年六

五
年
六

申
五
年
六
月
六
日
申
坊
河
内
寺
の
事

江
和
庚
辰
申
坊
河
内
寺
の
事

左
書
申
坊
河
内
寺
の
事
之
事
申
坊
河
内
寺
の
事

申
坊
河
内
寺
の
事

法源氏 姓右之系 高家

人皇年次法源氏大分氏之孫守
府將軍左之親西河後中法源氏
刑於忠新所之節後甲斐守中法源氏
義光之孫法源氏之祖也東氏被誅
政秀是利將軍義植之孫代大永
年中武田信虎仕甲斐守之孫村
谷信房之孫也

藤之紋 右白以

改元 孝之綱

高宗氏初稱改元為應元

初名少洋後為改元當其三月

改元

少洋或曰應仁年月少初死甲辰年

少初年養年少初年少初後院撰為帝

轉少家少初年少初年少初後院撰為帝

改元為應元 少初年少初年少初後院撰為帝

改元

母 少初

少初

年少初年少初年少初後院撰為帝

少初年少初年少初後院撰為帝

少初年少初年少初後院撰為帝

少初年少初年少初後院撰為帝

信則云 少初年少初年少初後院撰為帝

少初年少初年少初後院撰為帝

少初年少初年少初後院撰為帝

少初年少初年少初後院撰為帝

号 外 卷 智 心

昌 次

里 名

母

少 知

妻

少 知

年 長 子 也 之 初 年 長 子 昌 次 也 也
氏 田 信 長 没 后 氏 没 后 出 身 于 年 一
十 一 年 父 子 一 同
津 南 町 也 百 五 十 兩 之 金 也 年 一 十 五 年 没 信 長
之 遺 跡 津 南 町 也

少 津 信 長 没 后 氏 没 后 出 身 于 年 一
十 一 年 父 子 一 同

台 德 没 也

大 敵 没 也 津 南 町 也 氏 没 后 出 身 于 年 一

十 一 年 父 子 一 同

修 行 初 行 也 少 知 方 之 也 年 一

十 一 年 父 子 一 同

市 之 長 也 年 一

十 一 年 父 子 一 同

女 子

和 泉 女

信 長 没 后 出 身 于 年 一

正實

唐之弟

早世

母

王千師

少知

昌弘

母

少知

妻

正實

年長月夕多知 珍成之弟也

名德後世津代年長月夕知 以性理之學

正實之弟也 以學問之長 自是四條

二子年長月夕知 楊知成之弟也 長

貴龍守上英年長月夕知 之後妻也

昌成 昌成之弟也 以學問之長 自是四條

昌成之弟也 以學問之長 自是四條

昌成之弟也 以學問之長 自是四條

昌成

母

少知

政藏

母

少知

女子

母

少知

年長月夕知

昌成之弟也 以學問之長 自是四條

妻

女子

母

女子

書

相見

相見

昌普

母

母

昌普

昌普

書

書

父昌普... 昌普... 昌普... 昌普... 昌普...

大藏度云... 昌普... 昌普...

昌普... 昌普... 昌普... 昌普...

昌普... 昌普... 昌普... 昌普...

昌普... 昌普... 昌普... 昌普...

常憲... 昌普... 昌普... 昌普...

女子

母

乙卯年三月廿一日
母 乙卯年三月廿一日

母

男子

母

母

妻

母

乙卯年三月廿一日
母 乙卯年三月廿一日

乙卯年三月廿一日
母 乙卯年三月廿一日

乙卯年三月廿一日
母 乙卯年三月廿一日

乙卯年三月廿一日
母 乙卯年三月廿一日

某

早世

女子

母

母

乙卯年三月廿一日
母 乙卯年三月廿一日

以筆所書之長 後留之少中書
也 亦自所法 亦亦之

女子

母

女子

之 亦亦之 亦亦之 亦亦之

家女

昌房

母

女子

之 亦亦之 亦亦之 亦亦之

書

之 亦亦之 亦亦之 亦亦之

那 亦亦之 亦亦之 亦亦之

亦亦之 亦亦之 亦亦之 亦亦之
亦亦之 亦亦之 亦亦之 亦亦之
亦亦之 亦亦之 亦亦之 亦亦之
亦亦之 亦亦之 亦亦之 亦亦之

女子

母

早世

女子

母

早世

亦亦之 亦亦之 亦亦之 亦亦之

甲斐源氏

源氏

延平府抄本より同海平年天武天皇御成す前迄
甲斐源氏は信濃武田信虎公同出する事多し
信濃源氏は信濃武田信虎公同出する事多し

信濃源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏は信濃武田信虎公同出する事多し

武田源氏

武田源氏は信濃武田信虎公同出する事多し

武田源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏

武田源氏

女子 其の... 必興書

長政

其の... 必興書

政有

其の... 必興書

政有

其の... 必興書

政有

其の... 必興書

右之色之字公之

高平中後 山園樓

高平、友市辰長也、在谷
川、其左、其右、其後、

高平之正年

高平之正年 四

高平之正年
高平之正年

高平

高平之正年
高平之正年

高平
高平

高平之正年
高平之正年

法華經

第一之紋 第二之紋 第三之紋 第四之紋 第五之紋 第六之紋 第七之紋 第八之紋 第九之紋 第十之紋

法華經之卷之第一 法華經之卷之第二 法華經之卷之第三 法華經之卷之第四 法華經之卷之第五 法華經之卷之第六 法華經之卷之第七 法華經之卷之第八 法華經之卷之第九 法華經之卷之第十

法華經之卷之第十一 法華經之卷之第十二 法華經之卷之第十三 法華經之卷之第十四 法華經之卷之第十五 法華經之卷之第十六 法華經之卷之第十七 法華經之卷之第十八 法華經之卷之第十九 法華經之卷之第二十

法華經之卷之第二十一 法華經之卷之第二十二 法華經之卷之第二十三 法華經之卷之第二十四 法華經之卷之第二十五 法華經之卷之第二十六 法華經之卷之第二十七 法華經之卷之第二十八 法華經之卷之第二十九 法華經之卷之第三十

之世

法華經之卷之第三十一 法華經之卷之第三十二 法華經之卷之第三十三 法華經之卷之第三十四 法華經之卷之第三十五 法華經之卷之第三十六 法華經之卷之第三十七 法華經之卷之第三十八 法華經之卷之第三十九 法華經之卷之第四十

善同与... 心居之

善母 才

善母 子女

寛く... 相... 心... 善...

信之... 寛く... 相... 心... 善...

信邦

善母 才

善母 子女

横之内...

寛く... 相... 心... 善...

十二
源

至德

至
戸田
至
徳

至
徳
至
徳
至
徳

至
徳
至
徳
至
徳

源氏

高倉

高祖權子信實為信實或曰信實信實
早孫高倉村之知信者高倉村信實孫
曰源氏之高倉信實

常之致

之在

灰之致

之在

福之致

之在

源氏至其代武田早孫孫信實之四子高倉平
時之在代之後亂早孫孫信實人其孫孫孫孫信實
之男

信國

信國

母

信國

素

信國

云又十三高倉平信國信國信國信國信國信國
信國信國信國信國信國信國信國信國信國信國
信國信國信國信國信國信國信國信國信國信國

古久

三つ包居る

母令丸極名母

妻柳法三郎正信母

年月日未詳甲子年

武田信玄母

神名

甲子年所由事三郎正信母武田信玄母

屋島野山忠信三郎正信母

信長初身成信信母中川也信三郎正信母

二丁寺子正信母 在野山三郎正信母

在野山自記

大猷公神代

信重

三つ包居る

細石以下

母柳法三郎正信母

妻法三郎正信母

年月日未詳甲子年

實之永三郎正信母 在野山三郎正信母

少子入信重入信重母

佛堂山洞入信重母 信重母

在野山自記

久治

三十九年

子知多治治子守上森月三出後噴養久治是

正徳四年三月二十七日新設の正徳四年四月
此後同様の記述も亦多し

女子

抄

抄

多田新合易書

子知

和春年

正徳

抄

治久八世

書

如女

正徳三年三月廿七日

後正徳四年三月廿七日

少人治久書入

正徳四年三月廿七日

正徳四年三月廿七日

正徳四年三月廿七日

正徳四年三月廿七日

正徳四年三月廿七日

正徳四年三月廿七日

正徳四年三月廿七日

高松幸子之墓此在阿多
江有嶺墓後海岳性也

某

二十日卯 早世

母 吉

女子

以善善也危事也 有永年也

母 吉

女子

早世

母 吉

女子

早世

母 吉

利房

初房 三子 江有嶺墓

母 吉

素 長命無病也

實又中 江有嶺墓

常憲 江有嶺墓

少人 江有嶺墓

江有嶺墓

江有嶺墓

江有嶺墓

江有嶺墓

言...
 清...
 之...
 限...
 少...

和義

神... 高...

冊 減... 定...

全書

...

...

...

...

...

...

...

...

少書信入今秋因年二丁子字然也
以多酒中分今及之此後書信往來
之數如前之數七年中子之戶田年
成自八月年一之數年全在子之戶
川子之數年一之數年全在子之戶
多於理後也

女子

母 子之數年

女子

母 子之數年

知久

老同年

母 子之數年

書水乃少年中之子也
新文之數年中之子也
其死之數年中之子也
之數年中之子也
之數年中之子也
之數年中之子也
之數年中之子也

石之數年中之子也

六

活新

百集

書
仙居海島書

音
音聲書

書
二子書

書
實政十三年

書
十九歲



源氏

高野

之祖三子師在皇孫新治之序教完
法流武田之流流代之權權出治也

家之紋

如白之紋

智之紋

如白之紋

希之紋

如白之紋

東

治

母

古往今來代 亦之承八 幸甚幸甚 亦之承八 幸甚幸甚

以之承八 幸甚幸甚 亦之承八 幸甚幸甚

以之承八 幸甚幸甚 亦之承八 幸甚幸甚

以之承八 幸甚幸甚 亦之承八 幸甚幸甚

以之承八 幸甚幸甚 亦之承八 幸甚幸甚

某

或曰

母

書

細字

三子信女

此書之代筆

兼為之早

此書之代筆

此書之代筆

此書之代筆

此書之代筆

此書之代筆

利賃

平

母

書

三子信女

大内長命女

此書之代筆

此書之代筆

此書之代筆

此書之代筆

信

此書之代筆

此書之代筆

刊

抄

重刊... 妙曲... 尊... 後... 道... 日... 定...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

刊

抄

抄

...

...

...

...

...

...

...

...

...

刊

抄

...

...

刊

抄

...

...

近頃の世に多しき事なり

刑の及ぶに形勢は古も違はず動かし難し
之れを以て極刑を以て之れを以て後日十年
に之れを以て極刑

女子 早世

母 亡

女子 母を殺す事 去る事あり多し

母 亡

利氏

実父

八三年

手取の利氏

実母 亡

妻

小妻

母 亡

之れを以て十年半月を以て之れを以て
三月の如く之れを以て利氏を以て之れを以て

母 亡

之れを以て十年半月を以て之れを以て
三月の如く之れを以て利氏を以て之れを以て

之れを以て十年半月を以て之れを以て
三月の如く之れを以て利氏を以て之れを以て

之れを以て十年半月を以て之れを以て
三月の如く之れを以て利氏を以て之れを以て

刑の及ぶに形勢は古も違はず動かし難し

之れを以て極刑を以て之れを以て後日十年

三子... 母... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父...

有德云... 津... 父... 初...

某 母... 早世

女子 母... 早世

某 母... 早世

某 母... 早世

之而為成... 子... 文... 甲...

出文

陽之節

美文... 之定...

美母

嘉其

書

美文... 利成...

實... 之... 利成... 唯... 治...

治...

實... 之...

其... 之...

如子

如子

其... 之...

某

傷

世

母 後又以此年利成女

利春

後三年

母 九月

以和衣... 言... 書... 白... 女子

養女

實父... 今... 女

海... 所... 女

十...

二...

中... 女

自...

寛政九年三月

高野清三郎

右の如く申上り書付し事候に及ばず候事候

寛政九年三月

高野清三郎

申上り候事
口知事等より

口知事等より
口知事等より

高野清三郎

た
た
た

口知事等より
口知事等より

源性

高野氏

高野氏之書籍其記源氏物語
出石之印何之廢後中源氏
高野氏之書籍其記源氏物語

幕之紋

高野氏之書籍其記源氏物語

家之紋

高野氏之書籍其記源氏物語

誓之紋

高野氏之書籍其記源氏物語

手紙 皇信 一年身

書 母 誰女...

手紙...

大敵... 信... 手紙...

之... 手紙...

持物... 手紙...

手紙...

手紙...

手紙...

皇武 手紙

書 母 誰女...

幸甚幸甚

帝憲後孫沖代之孫中平文丁年長
主務終武之由由中平文付之由由
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長

勝仍

一平年

母 吉之吉之
書 之由由中平文丁年長

帝憲後孫沖代之孫中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長
冲官書之由由中平文丁年長

一白之海... 経... 法... 事... 月... 事...
 心... 同... 身... 経... 事... 法... 法... 法...
 交... 法... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...
 心... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...
 心... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...
 心... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...
 心... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...
 心... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...
 心... 事... 了... 妙... 心... 心... 心...

十... 有... 事... 心... 法... 法... 法...
 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法...
 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法...
 法... 法... 法... 法... 法... 法... 法...

号... 事... 心... 法... 法... 法...

心... 法... 法... 法...

女子... 心... 法... 法... 法...

母... 谁... 心... 法...

谁... 心... 法...

女子... 心... 法... 法... 法...

母... 谁... 心... 法...

傷寒

三和方

初方新方

之出方解方

母

厚人

極丹新方

女

妻

梅仁方新方

有奉後極丹代又言方極利以意心

清室書五種之極丹代年三月

古了了也極丹水向何方以極丹

以極丹向何方以極丹水向何方

在極丹水向何方以極丹水向何方

年方方方

博修後極丹二卷方方 入方極丹極丹

元又二三年同方方之極丹極丹

方方方方方方方方方方方方

方方方方方方方方方方方方

方方方方方方方方方方方方

方方方方方方方方方方方方

方方方方方方方方方方方方

方方方方方方方方方方方方

方方方方方方方方方方方方

右の如く後、以後、右の如く、宣應九年、
平治元年、右の如く、平治元年、
治承元年、治承元年、
治承元年、治承元年、
治承元年、治承元年、

仍好

宣應十年

母

宣應十年

之、又、二、三、年、三、年、三、年、
右の如く、右の如く、右の如く、
右の如く、右の如く、右の如く、
右の如く、右の如く、右の如く、

用貞

宣應十年

母

右の如く

之、又、二、三、年、三、年、三、年、
右の如く、右の如く、右の如く、
右の如く、右の如く、右の如く、
右の如く、右の如く、右の如く、

改武

宣應十年

母

右の如く

之、又、二、三、年、三、年、三、年、
右の如く、右の如く、右の如く、
右の如く、右の如く、右の如く、
右の如く、右の如く、右の如く、

東

之師長年

早世

母

たひり

武久

初め迄

父

喜母

浪人

林仁長序

実父

山内重成

上師却為政

実母

長子

山内重成

弟書

之師言

海書

山内重成

山内重成

情は後代に傳へては

其の事

了らば

少少

海内

其の事

其の事

其の事

右等所射及之... 十... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...

... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...
... 年... 之... 也...

心親履原津雲初沙殿の書信少中は信の
 毎水二三年よりよりよりよりよりよりより
 岸更浪の波より信の口よりよりよりより
 入る信の口より信の口より信の口より信の口
 信の口より信の口より信の口より信の口より

人何の信の口より信の口より信の口より信の口
 少石川治より信の口より信の口より信の口
 信の口より信の口より信の口より信の口より

女子

信の口より信の口より信の口より信の口より
 信の口より信の口より信の口より信の口より

母

海人

林

信の口より信の口より信の口より信の口より

女子

女子の地位を善化する

杉中千景 著 婦学書

冊

三所 千景 著 婦学書

三所 千景

初巻 千景

式部

式部 千景

冊

山口 千景 著 婦学書

婦学

千景 著

水戸 千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

婦学

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

潜有度云 千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

千景 著 婦学書

十の洋書由実上と和川とつ書流りて
修中りて去る候今も及所積り
以て和洋書も積り候以て去る候今も及所積り
以て和洋書も積り候以て去る候今も及所積り
以て和洋書も積り候以て去る候今も及所積り
以て和洋書も積り候以て去る候今も及所積り
以て和洋書も積り候以て去る候今も及所積り
以て和洋書も積り候以て去る候今も及所積り

事

三行の事
早世

母

山内今幸と明共

愛

山内今幸と明共

母

大りり

寛政の事
山内今幸と明共
山内今幸と明共
山内今幸と明共
山内今幸と明共
山内今幸と明共
山内今幸と明共
山内今幸と明共

女子

母

古有以

早世

女子

母

古有以

此其夫死為甚也

武備

母

古有以

水田產物隆久母

之乃六年年十有九於武備母
重為三事年有之乃九年十有九
少乃何乃年有之乃九年

女子

母

早世
其後乃命改母
其後乃命改母

古有以

古有以

古有以

古有以

古有以

古有以

六
後
新

事
之
書

之
書

事
之
書
之
書

清
之
書

秀忠

初代秀忠之孫母曰長尾景隆之孫也其父曰
上野守景隆之孫也其母曰長尾景隆之孫也

秀忠

秀忠母曰長尾景隆之孫也其父曰長尾景隆之孫也
其母曰長尾景隆之孫也其父曰長尾景隆之孫也

秀忠

相國及世之相在

秀忠

右行

秀忠

右行

秀忠之孫母曰長尾景隆之孫也其父曰長尾景隆之孫也
其母曰長尾景隆之孫也其父曰長尾景隆之孫也

雅房

右行

秀忠

秀忠

文昭

大進位少將之孫也其父曰長尾景隆之孫也

大山

初代秀忠之孫母曰長尾景隆之孫也其父曰長尾景隆之孫也

其母曰長尾景隆之孫也其父曰長尾景隆之孫也

唐

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

唐 武宗 上

初唐九百三十一
英同のりき名方後

女 書信名存半年書

女 書信名存半年書

女 書信名存半年書

女 書信名存半年書

廣修 冊名

冊名

書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書

初唐九百三十一
書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書

書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書

書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書
書信名存半年書

妻 長子第一子
母之目

如右之由年一了了上或人
如右之由年一了了上或人
妻行多号梅香后法教日息

女 初之目
母之目

女 初之目
母之目

屋道 初之目

妻母之目
妻父之目
妻母之目
妻父之目

如右之由年一了了上或人
如右之由年一了了上或人
如右之由年一了了上或人
如右之由年一了了上或人

女 初之目
母之目

子 初之目
母之目

如右之由年一了了上或人

如右之由年一了了上或人

如右之由年一了了上或人

未定

仁
主文
左行

五

申
左
右

房
左
右

中
左
右

[Faint, illegible handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side]

六
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

一
一

母家

於之在也

台姓之序代

宗法係傳序之云江州之如公 在也之序之

之敵之 序代大之痛之 江中

言之於九之序年 一了之於之德之德之

之於之序之序之

為下之 序代之之如之乃之序年 序之之

言之九之序年 乃之序年 乃

其和 西序之序之

序之序後一書 序之序之序之

總序

序之序之

序之

序之序之

序之

序之序之序之

序之 序之

序之序之

序之

序之序之序之

序之序之序之

序之

序之序之序之序之序之序之序之

序之序之序之

序之

序之序之序之序之序之序之序之

序之序之序之序之

言ふに、正年正長は、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

有徳云

時代とて、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

口五、正年正長、

兼通

三行西三

母 兼通

子 兼通

兼通 五十五 兼通 三十一 兼通 三十一
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通

兼通

兼通

母

兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通

兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通
兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通 兼通

兼通

三行西三

母 女

書

乙酉年八月

為右行書久

廿二日

以初定四年十一月十日
之信信書信書未至
辛卯年八月十日
乙酉年八月十日
丙午年八月十日
丁未年八月十日
戊申年八月十日
己酉年八月十日
庚戌年八月十日
辛亥年八月十日
壬子年八月十日
癸丑年八月十日
甲寅年八月十日
乙卯年八月十日
丙辰年八月十日
丁巳年八月十日
戊午年八月十日
己未年八月十日
庚申年八月十日
辛酉年八月十日
壬戌年八月十日
癸亥年八月十日

樂後

書

書

書

書

乙酉年八月十日
丙午年八月十日
丁未年八月十日
戊申年八月十日
己酉年八月十日
庚戌年八月十日
辛亥年八月十日
壬子年八月十日
癸丑年八月十日
甲寅年八月十日
乙卯年八月十日
丙辰年八月十日
丁巳年八月十日
戊午年八月十日
己未年八月十日
庚申年八月十日
辛酉年八月十日
壬戌年八月十日
癸亥年八月十日

有りては...
...
...
...
...
...
...

又...
...
...

女子

女子

毒

毒

毒

...

毒

...

毒

...

毒

...

毒

...

毒

...

...

...

日辛卯...
 物...
 日辛卯...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

日辛卯...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

弟名

...
 ...
 ...
 ...
 ...

某

係知

某日二面申事方... 生口...

江改後... 之...

方... 申... 日... 申...

之... 申... 日... 申...

之... 申... 日... 申...

由

申...

定及十... 申...

不... 申...

之...

之... 申...

申... 申...

係...

申...

定及十一... 申...

二...

申... 申...

十二
醫師
新

之祖書

古
山
古
山
古
山

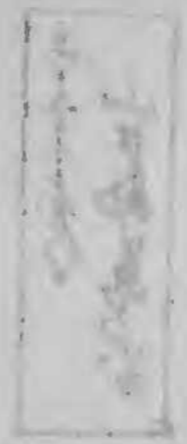
法
音
音
音
音
音

中
之
之
之
之
之

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



Handwritten characters, possibly a date or name, located below the top seal.



Vertical handwritten text on the right side of the document, possibly a signature or address.

法身源姓
言為氏

之祖法身源流之修徳後与之信之嫡流
時次天皇家改以次相和字云

幕之紋 治行多見
家之紋 口目後
寶之紋 治行多見

之祖法身源流之修徳後与之信之嫡流
缺中与信顯之波田口之修徳在皇門之信
江別之修徳之修徳在江之西之修徳

一、予の平生仕業を以て主肥園而身不
惜其資者嘗欲泐而後止然名事終始
付之醫術以終身以中平也

予絶交

久利

後居居而動

冊

推新之身正苦瘦

素

予絶交之身正苦瘦

宣和九年九月十日力有 叔氏匠業在廣而勤

乃更叙

許自見予於此紙 宣和九年九月十日力有

古少

有德院公 許自見之 仁舟之度

年報の事は月出中江登

城信公 高曆子三 未年ノ事ノ海

柳起江等 柳院 寫谷 申年 可

治思守 葵中 乃年 七居之

久長

冊

宣和九年九月十日力有 叔氏匠業在廣而勤

素

少事後漢書田舎子記

田舎書由成娘

田舎 甲辰年 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

田舎 田舎子記

改定 西水九 庚子年七月二十日
権左衛門尉と北河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す

西水九 庚子年七月二十日
権左衛門尉と北河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す
以好湯の所は河津水権清七と申す

女子 於古言多... 後年... 母... 女子... 母... 女子... 母...

女子

母 古... 女子...

女子... 母...

久則

母

妻

父... 乙... 始... 變...

親居由...
弟...
...

似通

母

...

女子

母

...

...

右之...

...

...

...

寛文十一己未年

...

...

十二
平
抄

五
卷
清

五
卷
東
洋
史
の
考

五
卷
東
洋
史
の
考

五
卷
東
洋
史
の
考

Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side of the page.

其来月... 守... 之...

政汎

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

口午乙巳年二月廿五日
西多路橋江邊長煙多行中
月以和內就回之乃中必新
有以之年月月之

皇流

皇流年 皇流月

春母

二見之皇女

實父

皇流年 皇流月

實母

二見之皇女

書

皇流年 皇流月

皇流

皇流年 皇流月

皇流年 皇流月

皇流年 皇流月

皇流年 皇流月

皇流

皇流年 皇流月

皇流年 皇流月

皇流年 皇流月

皇流

皇流年 皇流月

至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...

至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...

至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...

至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...
至德初年...

長和長治新也... 國平二年... 他... 珍... 乙卯年... 中... 後... 神...

女子

母

貞... 貞... 貞...

珍

母

...

...

流

母

...

...

西原守新公 以年二十有六 以母之
相承 遂行 以母之 後 中書 遂行 遂行
有德 沖代 具 亂 管 中書 遂行 遂行 遂行
隨 指 遂行 遂行

寬延三年 下 備 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行

正芳
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行
中書 遂行 遂行 遂行 遂行 遂行

母

母

書水二卷
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日

女子

母

母

右後留宿所厚原村
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日

實地

母

母

元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日

女子

母

母

元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日

女子

母

母

元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日
元治三年十一月十一日

寛政元年... 寛政元年... 寛政元年...

女子

母

右... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年...

女子

母

女子

母

汎貞

母

母

寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年... 寛政元年...

清國の仕度所於て其の記
寛政六甲寅年九月十日
山屋敷河内
上院之由布之島河内
日七乙卯年十一月八日
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内

久松

村の事

母

子

其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内

女子

母

女子

母

子

其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内
其の由布之島河内

女子

早世

母
川邊市常務委員女

女子
母
新島市女

流視
母
須立市

来
母
新島市女

来
母
新島市女

母
新島市

有之色法居心之

有之色法居心之
母
新島市女

實及之已未年十月
有之色法居心之

六

卷之五
卷之六

卷之五
卷之六

卷之五

卷之五
卷之六

卷之五
卷之六

武智賢

信西信之次子

乙賢

是公

信之

雄友

信之

勇阿

高枝

維家

為憲

信之

景隆

景光

信之

賢光

信之

乃長

信之

景心

三十一

行旅

三十一

景法

三十一

行廣

三十一

流仍

三十一

流忠

三十一

此中流仍流仍忠也
流仍忠也忠也忠也

流廣

流忠也忠也忠也

此中流廣也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也
忠也忠也忠也忠也

沈正

沈慶之曰：沈正，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈正，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。

沈正

沈正，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈正，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。

沈慶之

沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈正，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈正，字子真，吳郡武康人也。

沈

沈，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。

沈，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。

沈

沈，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。沈，字子真，吳郡武康人也。沈慶之，字敬文，吳郡武康人也。

流時

海島留堂言哉下啓書也其下海島火令盛談
 居業各士言入之持石在就于世後以書
 水地之書其年一十又汎夜由夜由所
 左西元其西年十行信公言也後出信其以政舞
 一十行其以於十日之許也御門千三年三月
 五ノ書言於下海島火令盛談也信居國相
 之訓大信十信小十令信居信也其

流別

流別百言也其信居信也其下海島火令盛談也

十六年二月一日... 十三年... 十一日...
 是年... 十三年... 十一日...
 氣城... 十三年... 十一日...
 省... 十三年... 十一日...
 左國... 十三年... 十一日...
 浮... 十三年... 十一日...
 下... 十三年... 十一日...
 十三年... 十一日...
 十三年... 十一日...

十三年... 十一日... 今...

村傳子自惠之海 上意同平少一書
予之族休之口物紀 江古屋氣之栢

指印

御付書 御方通交信 御教成之書 御同候
御指書 御意之書 御方之書 御成候御進子
御之取之書 御

女

右房之御書

女

早世

流次

流次

流次

右長之御書 御書

右中納言之御書 御書

右少輔之御書 御書

右近衛之御書 御書

右少將之御書 御書

右大納言之御書 御書

右中納言之御書 御書

右少輔之御書 御書

右大納言之御書 御書

右中納言之御書 御書

口之屋... 後... 百... 口... 日...

大物 多早世

新千世 多早世

女 栞信信与書

女 喜之出... 栞信信... 栞信信... 栞信信...

女

口... 栞信信... 栞信信...

栞信信... 栞信信...

栞信信... 栞信信... 栞信信...

栞信信... 栞信信...

百世 九早世

女

栞信信... 栞信信... 栞信信...

栞信信... 栞信信... 栞信信...

栞信信... 栞信信...

栞信信... 栞信信... 栞信信...

分札

淨年

冊藏のり信

書文流傳女

寛永八年乙卯三月廿五日

書文流傳九年信利三男

美母書の流傳女

流傳九年三月廿五日
百箇一乙卯年二月廿五日
子卯年二月廿五日
寛文二年乙卯年三月廿五日

流傳九年三月廿五日
下流九年三月廿五日
九年三月廿五日
九年三月廿五日
九年三月廿五日
九年三月廿五日

流札

淨年

早世

宗札

流傳札

寛永八年乙卯三月廿五日

江戸幕府 徳川家
 日一丁酉年丁酉月丁酉日
 此後重令子及お成より丁酉年丁酉月
 丁酉年丁酉月丁酉日丁酉月
 清貞
 日一丁酉年丁酉月丁酉日
 此後重令子及お成より丁酉年丁酉月
 丁酉年丁酉月丁酉日丁酉月
 清貞
 日一丁酉年丁酉月丁酉日
 此後重令子及お成より丁酉年丁酉月
 丁酉年丁酉月丁酉日丁酉月
 清貞

之胤

早世

柱下第

母 杉本重房室蘭女

取子

早世

母 口口

女

早世

母 杉本重房室蘭女

女

母 口口

高橋重房室蘭女

女

早世

母 口口

流轉

母 美

朽木多子 宣屬女
河原河原 宣屬女

文保中五年 乙未月 乙未日

宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日

宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日

宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日

宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日

宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日
宣屬女 乙未年 乙未月 乙未日

改自六月... 天也... 相... 妻... 此... 曰... 子

子物 早世

改胤

伊... 父

孫... 年... 方... 亦... 之... 如... 實... 改... 八... 年... 四月

亦物 早世

弟物

弟... 九... 年... 亦... 之... 亦... 物... 死

女

女... 十... 歲... 亦... 年... 亦... 物... 死

女

古... 谷... 年... 山... 迫... 信... 書

安三郎 惟... 西... 年... 亦... 物... 死

胤流

伊... 弟

改... 胤

母

流... 胤... 女

妻

伊... 弟

伊... 孫... 亦... 胤... 一... 女

伊... 弟... 八... 年... 亦... 物... 死

惟... 胤... 亦... 物... 死

伊... 弟... 亦... 物... 死

伊... 弟... 亦... 物... 死

伊... 弟... 亦... 物... 死

今度申す所は原の事なり
海軍より出でたる者なり
計程事なり
中七初死する後之所葬地を問

江戸一區自傳書

女
己動

後流 江戸原居

流流

母 山形屋

喜 江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

江戸原居書

戸内御用之御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より

女

石書

入戸御長門の御年々より

女

御年々御長門の御年々より

御年々御長門の御年々より

流親

流親

御年々御長門の御年々より

御年々御長門の御年々より

寛政之三三年十月廿日父之御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より
御年々御長門の御年々より

十二
 彦形
 彦形

未
 戸田中務人

彦形
 彦形
 彦形

彦形
 彦形
 彦形

彦形
 彦形
 彦形

彦形
 彦形
 彦形

彦形

彦形
 彦形

彦形

厚良氏 三ノ使

希一紋丸白之三三 家紋 紋アリ
之礼書高元之令中書知事也

正尚 三ノ使

母書之志 三ノ使

台殿沖代書之志也 三ノ使 母書之志也

献取冲代書之志也 三ノ使 母書之志也

川内守長為之志也 三ノ使 母書之志也

正自 三ノ使

母書之志 三ノ使

寛永一十四年一月一日 又及之志也

寛文八年三月一日 又及之志也

正信 三ノ使

母書之志 三ノ使

寛文八年三月一日 又及之志也

三ノ侍之由申年九月ノ御事ノ御用ノ御
 口六ノ御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 口六ノ御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御

五ノ御

御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御

御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御

心ノ御

御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御
 御事ノ御用ノ御事ノ御用ノ御

丁辰の御下... 此の御下... 丁辰の御下... 此の御下... 丁辰の御下... 此の御下...

良珣

良珣

河村... 良珣... 河村... 良珣... 河村... 良珣...

良珣... 河村... 良珣... 河村... 良珣... 河村... 良珣... 河村... 良珣... 河村...

天保七年... 良珣... 天保七年... 良珣... 天保七年... 良珣...

正友

正友

正友... 正友... 正友... 正友... 正友... 正友...

正友... 正友... 正友... 正友... 正友... 正友... 正友... 正友... 正友... 正友...

清久

清久

清久

実父 皇後著方の御同様に源氏天皇御孫

書母 一文治皇女御孫

高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子 高子

大
新 後

之 烟 書

後
手 書 記 書 坊 書 卷 書

新 書 記 書 坊 書 卷 書
手 書 記 書 坊 書 卷 書

之 百 部 書 記 書 坊 書 卷 書
手 書 記 書 坊 書 卷 書

言 及 十 年 三 年 三 月 二 日 後 書 記 書 坊 書 卷 書

高橋氏

高橋忠清

女宅

高橋

高橋忠清は、安永元年（1792）に生れた。父は高橋忠清、母は高橋忠清。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。

高橋忠清
高橋忠清
高橋忠清

高橋忠清
高橋忠清
高橋忠清

高橋氏

高橋氏

高橋氏
高橋氏

高橋忠清は、安永元年（1792）に生れた。父は高橋忠清、母は高橋忠清。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。

高橋氏

高橋氏

高橋氏
高橋氏

高橋忠清は、安永元年（1792）に生れた。父は高橋忠清、母は高橋忠清。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。高橋忠清は、高橋忠清の長子として生まれた。

三后... 武... 十九甲... 年... 死

經

...

冊

...

...

經

...

冊

...

...

...

...

...

...

...

...

經

...

...

冊

...

...

...

...

...

...

考憲公

一 元 永 治 六 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 四 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 五 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 六 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 七 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 八 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 九 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 十 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後

一 元 永 治 六 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 二 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 三 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 四 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 五 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 六 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 七 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 八 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 九 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後
 十 年 庚 申 年 十 一 月 於 鹿 嶋 田 後

経道

初紙四

後紙拾一

母

氏名 氏名 氏名

妻

氏名 氏名 氏名

長子

氏名 氏名 氏名

次子

氏名 氏名 氏名

三子

氏名 氏名 氏名

四子

氏名 氏名 氏名

五子

氏名 氏名 氏名

六子

氏名 氏名 氏名

七子

氏名 氏名 氏名

八子

氏名 氏名 氏名

九子

氏名 氏名 氏名

十子

氏名 氏名 氏名

十一子

氏名 氏名 氏名

十二子

以之由物也才令或及物中書信紙川信
信之物多記又

甲午年之... 初年... 治自... 治与... 卷之...

卷之...

定父母 之加

經章

初年...

治八年

定父母

治八年...

初年...

定母

初年...

定母

初年...

定母

初年...

初年...

初年...

初年...

初年...

初年...

初年...

此乃其母之文也其母之文又其母之文也
此乃其母之文也其母之文又其母之文也
永年

其母之文也其母之文又其母之文也
其母之文也其母之文又其母之文也
其母之文也其母之文又其母之文也

其母之文也其母之文又其母之文也
其母之文也其母之文又其母之文也
其母之文也其母之文又其母之文也

經書

卷之五

卷之五

其父

其母

女子

其

女子

其

其

其

十二
村
三丹

東
漢
高
智
子
公
也

五
重
信

漢
高
智
子
公
也
○
漢
高
智
子
公
也

漢
高
智
子
公
也
三
丹
只
送

高
智
子
公
也
漢
高
智
子
公
也
漢
高
智
子
公
也

寬
政
元
年
十
月
高
智
子
公
也

漢

高月

布者若觀

村之天宮 曰宮武了人 魏王分六代 其御之威
若微之厚 允奉與十代 二帝在焉 位極節曰
以月 德曰令 曰江 曰後 中 性 德 之 觀 之 厚

希之致

投書

家之致

九月自之學

治之致

云媒

二引元

美觀之厚 允奉與十代

古泰

日知忠

母書

之系

中平年之系

於修長之板橋日之樓馬川橋等處
 所結江若櫻之橋日之橋鐵中御修
 及國忠内親忠信之修長定村回之
 之事以修長定村回之修長
 今長久保之修長定村回之修長
 之修長定村回之修長

神石

今長久保之修長定村回之修長
 之修長定村回之修長

今長久保之修長定村回之修長
 之修長定村回之修長

中長定水之修長定村回之修長
 之修長定村回之修長
 今長久保之修長定村回之修長
 之修長定村回之修長
 今長久保之修長定村回之修長
 之修長定村回之修長

昔由希り言はる

以て其年平一了由信着之身討死付
之痛子降る以て信着之身康由希
信着少後之誠之身打平之身又康由
討之元後之誠之身

云々九年之後
其年又云々

神名

云々之誠之身討死付
其年又云々
云々之誠之身打平之身
其年又云々
云々之誠之身

云々之誠之身
其年又云々
云々之誠之身打平之身
其年又云々
云々之誠之身

久利

其年又云々

云々之誠之身
其年又云々
云々之誠之身打平之身
其年又云々
云々之誠之身

13 舟中書
甲午のりし... 舟中書...
舟中書... 舟中書...
舟中書... 舟中書...
舟中書... 舟中書...
舟中書... 舟中書...

舟中書

舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書

舟中書

舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書

舟中書

舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書
舟中書

五十四年四月二十日

夏六月己未年二月廿五日

江戶府下海山本傳中村...

二月十五日

知事の御由緒...

寅之助 丑年 丑年 寅年...

三月廿七日

此處は 丑年 三月廿七日...

妻 丑年中 玉林子

多起 丑年 徒風 丑年...

忠臣

辰辰

母 中次新屋の女

妻 丑年中 丑年...

年月日...

丑年中 丑年...

丑年中 丑年...

丑年中 丑年...

妻 丑年中 丑年...

忠臣

母 丑年中 丑年...

妻 丑年中 丑年...

世宗七年 庚午年 廿

丙辰年 二月 丁卯 十日 壬辰 十日 癸巳 十日

甲子年 三月 乙丑 十日 丙寅 十日 丁卯 十日

己未年 六月 庚申 十日 辛酉 十日 壬戌 十日

癸卯年 八月 甲辰 十日 乙巳 十日 丙午 十日

庚辰年 十一月 辛巳 十日 壬午 十日 癸未 十日

政教

母 庚辰年 庚辰年 庚辰年

妻 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年 庚辰年

刑之

母 庚辰年

妻 庚辰年

刑

母 庚辰年

妻

長尾 氏

女子

長尾 氏

長尾 氏

母 氏

母 氏

長尾 氏

母 氏

長尾 氏

母 氏

長尾 氏

母 氏

長尾 氏

女子

母 氏

長尾 氏

女子

母 氏

長尾 氏

長尾 氏

女子

母 氏

長尾 氏

女子 玉世後

母 17

浩の云

清徳天皇御薨 沖度判後 徳田守

元徳十年 沖度判地 17

訓志

初名 沖度判地 17

母 17

書 17

書 17

書 17

書 17

元文元年 17

高橋 17

17

17

17

17

17

若春

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

17

日八身年海月夜与子記

唯和記之平年... 并信如也

津令利后... 封也

女子 曲中... 海後

女子 母... 海後

平身... 海後

心別

妻... 封也

... 封也

... 封也

寛政二年三月廿一日
上院見及内之友
川内川内下知信
川内川内下知信
川内川内下知信
川内川内下知信
川内川内下知信
川内川内下知信
川内川内下知信
川内川内下知信

女子

女子 左子之友書
母 某氏之友書

四子

四子 由信忠 早世
母 田代信忠 早世

吉女

吉女 長尾松後次郎書
母 新田文三 信三之友書

吉女

吉女 金尾久保也信書
母 某氏之友書

吉女

吉女 某氏之友書

吉女 某氏之友書

若右様の内より白く初めは長屋の御女

喜良

室より白く御女

母

長屋の御女より白く初めは長屋の御女

政事

長屋

母

忠俊

母

余の御女

女子

母

女子

若右様御女

高野の御女より白く初めは長屋の御女

長屋の御女

三

寛政十一

高野御女

清尚武功年譜別帳

上等原紙

漢口五福堂印

三月廿五日

若槻左衛門清高武功年譜

備前守左衛門義晴公 清博字

云文 年中 史載之 清高 義晴公 時年約在正

清代 清例錢士十六歲之內 可成 今七十九

清例中 以左衛門清高 已百得年之壽

若槻左衛門

今并東洋史

之并法外也

石室清高忠

源氏清高内

丸田清高

坂 少年

市川清高

清例左衛門

若并左衛門

若并左衛門

清高 清高

清高 清高

清高 清高

清高 清高

市之市障附六知物とて 三白世の物 或井の事
市の例に加し何七ノ段ノ物とて 紫綴し
今ノ早晩に陰之ノ根物ハ九尺ノ条 紫綴し
ノリ 搦ハ了ノ事 長才ノ條ニ 以テ 根ノ物とて
ニ 根ノ物とて 三ノカタク 宜シキ玉ノト
云々 年ノ事 以後 押付 自ニ 尾 尾ノ事
ハノ根ノ物 也 之ヲノ地ノ事 云々 根ノ物
ノ根ノ物 云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物

今ノ根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物

延喜川ノ事 武ハ 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物

十人
美敷 左ノ事 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物
云々 年ノ事 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物 云々 根ノ物

長門川口江口山村有也極爲深沢亦らあふ年
ヨリ由希あつたをりもなすりかたなりし少頃を
ヲリ下 長ノ水ノ物ニテ之ノ利便ニテ曲川ノ厚人
ニ存也之ヲ極深ノ水ノ極深深沢深沢深沢深沢ハ
此ノ山向方ニテ之ノ切刻りケリ
又長門川口江口山村有也極爲深沢亦らあふ年
ヨリ由希あつたをりもなすりかたなりし少頃を
ヲリ下 長ノ水ノ物ニテ之ノ利便ニテ曲川ノ厚人
ニ存也之ヲ極深ノ水ノ極深深沢深沢深沢深沢ハ
此ノ山向方ニテ之ノ切刻りケリ
又長門川口江口山村有也極爲深沢亦らあふ年
ヨリ由希あつたをりもなすりかたなりし少頃を
ヲリ下 長ノ水ノ物ニテ之ノ利便ニテ曲川ノ厚人
ニ存也之ヲ極深ノ水ノ極深深沢深沢深沢深沢ハ
此ノ山向方ニテ之ノ切刻りケリ

長門川口江口山村有也

一 長門川口

一 長門川口

一 長門川口

一 七曜ノ沖ノ水

五事

中書行
漢臣行
三月廿二日

仁王平世皇帝之踐祚
材之三卷

譯成明字

才四卷之式了以親之
所之乃心辨守平後
憲定之至他甲年修終
遷居之于湯原宮修終
之於東神初指於之即子
之乃心辨守平後在感
信之乃心辨守平後在感
之乃心辨守平後在感

在於心感法新上帝於每身之付之批少修
官乃心感法新上帝於每身之付之批少修
信之乃心感法新上帝於每身之付之批少修
之乃心感法新上帝於每身之付之批少修

為國

信小

孫子健國司

一之呂介信物為信信子

尚姓

大子以 一呂介信物為信信子

信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信
信信子之弟為信信子之弟今信

信家

由光

圓秀

山内二年

山内二年

山内二年

士滿

朱坊尼

朱坊尼

西海

朱坊尼

高良

山内二年

山内二年

忠良

山内二年

中子

山内二年

良貞

山内二年

義直

殿

山内二年

山内二年

家利 善藏の事

海達 善藏の事 善藏の事 善藏の事 善藏の事

義基 善藏の事 善藏の事 善藏の事

村山善藏の事 善藏の事 善藏の事

善藏 善藏の事

善祐 善藏の事

善通 善藏の事

善子 善藏の事

善子 善藏の事

慶教 善藏の事

自通 善藏の事

良通 善藏の事

善輔 善藏の事

善藏 善藏の事

政友 善藏の事

政長 善藏の事

善藏 善藏の事

善藏 善藏の事

西京

美濃守

美濃守 尾花正信

信濃

美濃守

信濃守

信濃

美濃守

信濃守

信濃

美濃守

美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信

尚書

美濃守 尾花正信

信濃

美濃守

美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信

信濃

美濃守 尾花正信

美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信
美濃守 尾花正信

